

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-312508
 (43)Date of publication of application : 09.11.2001

(51)Int.CI.

G06F 17/30
 G06F 13/00
 G06F 15/00
 G06F 17/60

(21)Application number : 2000-129100
 (22)Date of filing : 28.04.2000

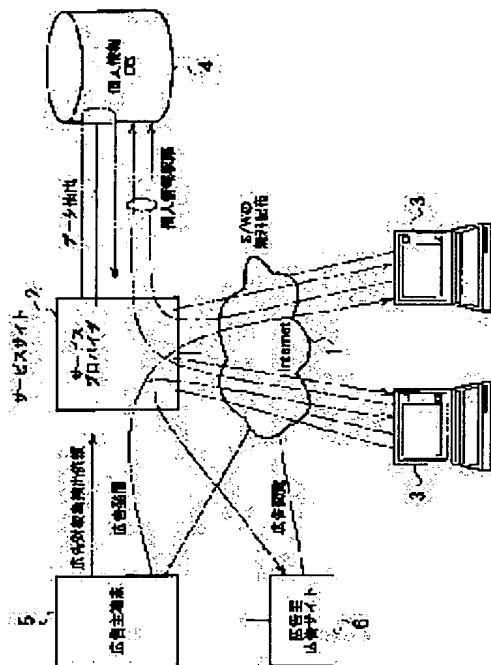
(71)Applicant : TOSHIBA CORP
 (72)Inventor : SATO HAJIME

(54) SERVICE PROVIDING METHOD USING INFORMATION NETWORK

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a service providing method which can implement a push-type advertisement with the specified target segment and which uses a high hit ratio and high effective advertisement.

SOLUTION: In the method, individual data on users are stored in a database 4 somehow in advance. When each individual user starts a specified application software to utilize the service provided from a terminal 3, a service site 2 is made to be accessed automatically and the service site side recognizes each terminal user who has accessed. On the other hand, if an advertisement sponsor 5 has asked to advertise narrowing a the specified segment under a special condition, the users are specified by searching the database. The advertisement is displayed on the user's terminal if it is judged that the user is eligible after the evaluation of whether the user is the specified user or not when that user accessed the service site.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 17.08.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2003 Japan Patent Office

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-312508
(P2001-312508A)

(43)公開日 平成13年11月9日(2001.11.9)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	マーク [*] (参考)
G 06 F 17/30	3 4 0	G 06 F 17/30	3 4 0 A 5 B 0 4 9
	1 1 0		1 1 0 F 5 B 0 7 5
	1 7 0		1 7 0 Z 5 B 0 8 5
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 P
15/00	3 1 0	15/00	3 1 0 A
審査請求 有		請求項の数 4 O L (全 9 頁)	最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-129100(P2000-129100)

(22)出願日 平成12年4月28日(2000.4.28)

特許法第64条第2項ただし書の規定により図面第2図、
3図、5図の一部は不掲載とした。

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

東京都港区芝浦一丁目1番1号

(72)発明者 佐藤 肇

東京都港区芝浦一丁目1番1号 株式会社
東芝本社事務所内

(74)代理人 100083806

弁理士 三好 秀和 (外7名)

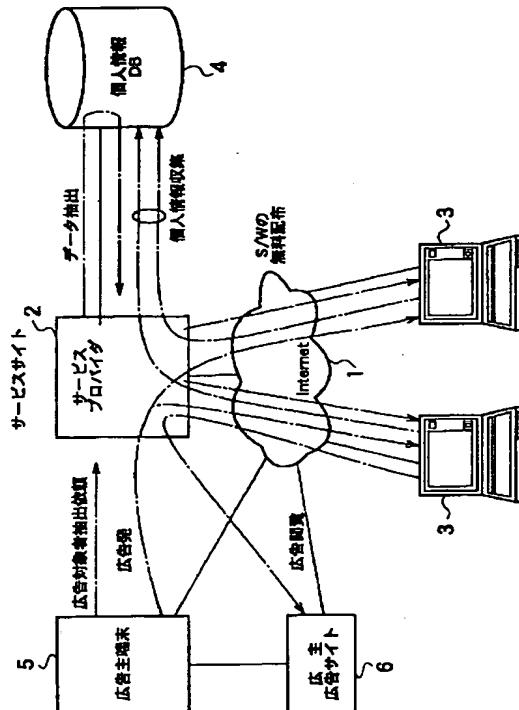
Fターム(参考) 5B049 AA06 BB49 FF01 GG02
5B075 ND20 PP03 PP13 PQ02 PQ05
UU08 UU24
5B085 BE07 BG07

(54)【発明の名称】 情報ネットワークを使用したサービス提供方法

(57)【要約】

【課題】 広告ターゲットを絞ってブッシュ型広告を行うことができ、ヒット率や広告効果が高い情報ネットワークを使用したサービス提供方法を提供する。

【解決手段】 予めデータベース4に当該サービスサイトを利用するユーザーの個人情報を何らかの方法で蓄積しておく。そして複数のユーザーそれぞれが端末3から当該サービスを利用するため特定のアプリケーションソフトを起動すると自動的に当該サービスサイト2にアクセスさせ、サービスサイト側ではアクセスしてきた端末のユーザー各々を認識する。一方、広告依頼主5から広告対象を特定の条件を絞って広告するよう依頼を受けているならば、データベースを検索して該当するユーザーを絞っておく。そしてあるユーザーが当該サービスサイトにアクセスしてきたときに、広告対象に該当するユーザーであるかどうか判定し、該当するユーザーである場合にそのユーザーの端末に広告情報を表示させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 端末を介してサービスプロバイダに接続しているユーザーを特定する段階と、広告対象を特定する情報に該当するユーザーを抽出する段階と、前記特定したユーザーが前記抽出したユーザーに含まれる場合に、広告情報を当該ユーザーの端末に配信して表示させる段階とから成る情報ネットワークを使用したサービス提供方法。

【請求項2】 端末を介してサービスプロバイダに接続しているユーザーを特定する段階と、配信先を特定する情報に該当するユーザーを抽出する段階と、前記特定したユーザーが前記抽出したユーザーに含まれる場合に、情報を当該ユーザーの端末に配信して表示させる段階とから成る情報ネットワークを使用したサービス提供方法。

【請求項3】 前記広告情報又は情報にこれら的情報に関連する特定のキャラクタを付随させることを特徴とする請求項1又は2に記載の情報ネットワークを使用したサービス提供方法。

【請求項4】 前記抽出する段階は、個人情報が収められているデータベースから所定の条件に基づいて抽出することを特徴とする請求項1又は2に記載の情報ネットワークを利用したサービス提供方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットのような情報ネットワークを使用したサービス提供方法に関する。

【0002】

【従来の技術】近年のインターネットの飛躍的な発展に伴い、インターネットのような情報ネットワークを利用した広告方法も種々開発されている。その中でも一般的な広告方法は、ポータルサイトやホームページにバナー広告を設け、更にバナー広告のエリアにその広告主のホームページや広告サイトをリンクさせておき、当該ページにアクセスしたユーザーがバナー広告を見、またその広告に興味があればバナー広告のエリアや紹介している商品のエリアにカーソルをおいてマウスクリックあるいはそれに相当する他の操作することにより、リンクされている広告主のホームページや商品の紹介ページにジャンプさせ、さらに詳しい広告情報を得させるものであった。

【0003】また、プッシュ型の広告方法としては、企業や広告エージェントがアンケート、プレゼント提供、その他の種々の方法で多数のユーザーのメールアドレス情報を収集してデータベースに蓄積しておき、後にデータベースの登録ユーザーに対してほとんど無差別に広告情報を配信するものも広く利用されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来の情報ネットワークを使用した広告方法のうち前者の方法では、ユーザーがその広告に興味を示さない限り、広告主のホームページや商品の紹介ページにアクセスされることがなくて広告効果が得にくい問題点があった。

【0005】また後者の広告方法の場合には、顧客情報データベースに登録されたユーザーすべてにほとんど無

10 差別に広告情報を配信するので、商品広告やサービス提供の広告に対するユーザーの反応、つまり広告効果を把握しにくく、また年齢層、性別、好みその他の個人情報を考慮することなく一律に広告情報を配信するためにヒット率（見るか見ないかの確率や購入に結びつく確率）がきわめて低い問題点があった。

【0006】本発明は、このような従来の問題点に鑑みてなされたもので、広告ターゲットを絞ってプッシュ型広告を行うことができ、ヒット率や広告効果が高い情報ネットワークを使用したサービス提供方法を提供することを目的とする。

【0007】本発明はまた、その情報を必要としているユーザーに的を絞って情報を配信することができる情報ネットワークを使用したサービス提供方法を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明の情報ネットワークを使用したサービス提供方法は、端末を介してサービスプロバイダに接続しているユーザーを特定する段階と、広告対象を特定する情報に該当するユーザーを抽出する段階と、前記特定したユーザーが前記抽出したユーザーに含まれる場合に、広告情報を当該ユーザーの端末に配信して表示させる段階とから成るものである。

【0009】請求項1の発明の情報ネットワークを使用したサービス提供方法では、予めデータベースに当該サービスサイトを利用するユーザーの個人情報を、例えば無料で当該サービスサイトへアクセスするアプリケーションソフトを電子的に希望者に配信して、ユーザー登録させるといった方法によって蓄積しておく。

【0010】そしてユーザーに端末から当該サービスを利用するため特定のアプリケーションソフトを起動させると自動的に当該サービスサイトにアクセスし、サービスサイト側ではアクセスしてきた端末のユーザーを認識する。

【0011】その後、あるユーザーが当該サービスサイトにアクセスしてきたときに、そのユーザーを認識し、広告対象に該当するユーザーであるかどうか判定し、該当するユーザーである場合に広告情報をそのユーザーの端末に送信して広告情報を表示させる。

【0012】これにより、広告主が広告対象としている

ユーザー層に限って広告情報を提供することができ、広告効果を向上させることができる。

【0013】請求項2の発明の情報ネットワークを使用したサービス提供方法は、端末を介してサービスプロバイダに接続しているユーザーを特定する段階と、配信先を特定する情報に該当するユーザーを抽出する段階と、前記特定したユーザーが前記抽出したユーザーに含まれる場合に、情報を当該ユーザーの端末に配信して表示させる段階とから成るものである。

【0014】請求項2の発明の情報ネットワークを使用したサービス提供方法では、予めデータベースに当該サービスサイトを利用するユーザーの個人情報を、例えば無料で当該サービスサイトへアクセスするアプリケーションソフトを電子的に希望者に配信して、ユーザー登録させるといった方法によって蓄積しておく。

【0015】そしてユーザーに端末から当該サービスを利用するため特定のアプリケーションソフトを起動させると自動的に当該サービスサイトにアクセスし、サービスサイト側ではアクセスしてきた端末のユーザーを認識する。

【0016】その後、あるユーザーが当該サービスサイトにアクセスしてきたときに、そのユーザーを認識し、配信対象条件に該当するユーザーであるかどうか判定し、該当するユーザーである場合に依頼主からの情報をそのユーザーの端末に送信して表示させる。

【0017】これにより、情報配信依頼主が配信対象としているユーザー層に限って情報を提供することができ、それを必要とする蓋然性が高いユーザーに絞って情報を提供することができる。

【0018】請求項3の発明は、請求項1又は2の情報ネットワークを使用したサービス提供方法において、前記広告情報又は情報にこれらの情報に関連する特定のキャラクタを付随させるものである。

【0019】請求項3の発明の情報ネットワークを使用したサービス提供方法では、広告情報又は情報の表示と共に配信元を表象する特定のキャラクタを表示させることにより、ユーザーにとって当該サービスを楽しみながら利用することができるようになり、ひいては当該サービスの利用を促進することができる。

【0020】請求項4の発明は、請求項1又は2の情報ネットワークを使用したサービス提供方法において、前記抽出する段階は、個人情報が収められているデータベースから所定の条件に基づいて抽出するものである。

【0021】請求項4の発明の情報ネットワークを使用したサービス提供方法では、配信対象を特定の条件、例えば年齢層、性別、趣味、嗜好等の条件に基づいて正確かつ迅速に抽出することができる。

【0022】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図に基づいて詳説する。図1は本発明の1つの実施の形態の

サービス提供方法を使用する情報提供システムの構成を示している。情報ネットワークにはインターネット1を利用し、当該サービスサイトのWWWサービスプロバイダ2に対して多数のユーザー端末3がこのインターネット1によって結ばれる。

【0023】ユーザー端末3にはメール機能、スケジュール機能、チャット機能等の必要な機能が組み込まれた通信ソフトとWWWブラウザソフトがインストールされており、WWWサービスプロバイダ2に対してはWWW10ブラウザを利用し、ユーザーが契約しているインターネット接続サービスプロバイダのアクセスポイントからインターネット1を介してアクセスする。

【0024】この実施の形態のサービス提供方法を利用する通信ソフトは、WWWサービスプロバイダ2に用意され、ユーザー端末3からWWWブラウザソフトを利用してこのWWWサービスプロバイダ2にアクセスすることにより無償でダウンロードし、インストールすることができるものである。

【0025】WWWサービスプロバイダ2は、インターネット1に接続されていて、インターネット1上の各種のエージェントサービスプロバイダ、例えば、検索エージェント、ニュースエージェント、ショッピングエージェント等のエージェントサービスプロバイダにリンクしている。また、当該サービスのために広告スポンサー企業の端末5ともリンクすることができる。

【0026】WWWサービスプロバイダ2は、(1)ユーザー管理機能と(2)エージェントサービスを実行する。

【0027】(1)のユーザー管理機能は、所定の手続30によるユーザー登録を受け付け、管理する機能である。そして、次のエージェントサービスをユーザーが利用するよう、特定のキャラクタと噴出しメッセージあるいは音声メッセージによりユーザーの利用をガイドする機能も併せ持っている。

【0028】そしてWWWサービスプロバイダ2は、任意のユーザーに通信ソフトを無償でダウンロードしインストールさせる際に、ID番号とパスワードの登録の手続と共に、必要に応じてハンドルネームの登録、そして一般的なアンケート形式で予め用意したテキストボックス40に住所、年齢、性別、趣味、嗜好などを入力させて送信させ、データベース(DB)4に受信した個人情報をID番号と共に登録することにより、多数のユーザーの獲得と共にその個人情報を蓄積する。

【0029】(2)のエージェントサービスには、次のようなものがある。

【0030】・検索サービス

・メールサービス

・チャットサービス

・ショッピングアシスタントサービス

・エンターテイメント連動サービス

・メッセンジャーサービス

<ユーザー端末>ユーザー端末3は通信機能を備えた一般的なパーソナルコンピュータであるが、簡易な通信の場合には携帯電話に代表される携帯端末も利用される。ユーザー端末3には当該サービスサイトからダウンロードし、あるいはオフラインで入手した通信ソフトとWWWブラウザがインストールされていて、ユーザーが契約しているインターネット接続サービスプロバイダのアクセスポイントからインターネット1に接続し、さらに当該サービスサイトのWWWサービスプロバイダ2には認証コード（通常は、IDコードとパスワード）を入力することによりログインすることができる。

【0031】通信ソフトには、上述した各種サービスの利用のために必要な各種のデータが保持され、また更新登録される。例えば、アドレスデータ、メールデータなどである。

【0032】この通信ソフトはまた、広告主や同好会世話人又は同じような嗜好を持つ人などのように不特定多数若しくは所定の人数のユーザーに対して広告キャッチフレーズや何らかのメッセージを配信したいと望むユーザーには、次に説明するメッセンジャーサービス機能を備えている。

【0033】このメッセンジャーサービス機能を説明すると、次の通りである。送信側のユーザー端末3SにおいてOSによりウィンドウ画面を展開させた後に当該メッセンジャーサービス機能をユーザーが起動させることにより、画面上に図2において(i)に示すランプアイコン（以下、説明の便宜上「マジック（登録商標）ランプ」と称する）A1が常駐アイコンとして表示される。

【0034】この常駐アイコンA1をカーソルA2でポイントティングし、左ボタンのシングルクリックあるいはダブルクリックのような所定の操作をすることにより、画面(ii)に示すようにマジックランプA1から煙と共にエージェントを擬人化したキャラクタA3が現れ、さらに自動的にWWWサービスプロバイダ2に対する接続手続を実行する。なお、ここでキャラクタA3は擬人化されているが、ここでいう擬人化とは、あたかも人のような動作をすれば足り、大型や熊型など動物を模したものや想像上の物体でもよい。

【0035】この接続手続が完了すれば、画面(iii)に示すようにキャラクタA3からの噴出しA4に、メッセンジャー宛先リストウィンドウW1、メッセージ記入ウィンドウW2、そして送信ボタンW3、封書指定ボタンW4が表示される。

【0036】宛先リストウィンドウW1に入力するメッセンジャー宛先は、eメールアドレスやサーバに固有のアドレスなどユーザーを特定できるものである。そしてこの宛先リストは送信側のユーザーが自身で入力することができるが、後述する送信該当者抽出サービスによりWWWサービスプロバイダ2から取得したユーザーを特

定するアドレスのリストを利用することにより自動的に転記入力することもできる。

【0037】メッセージ記入ウィンドウW2には、送信側ユーザーが伝えたいメッセージを入力するが、これも、後述する送信該当者抽出サービスによりWWWサービスプロバイダ2に予め登録したメッセージを自動的に転記することもできる。

【0038】所定の入力の後、送信ボタンW3をクリックすると、送信側の端末3Sでは、図2(iv)に示すよ

うにエージェントA3が瞬間に消え、マジックランプA1だけが残る表示になる。この際に、封書ボタンW4をチェックしておくと、後に送信先（受信側）のユーザー端末3Rでメッセージを開封したときに、送信側の端末3Sに対して表示されることになる。そして不特定多数のユーザー端末3Rに対してメッセージを送信し、多数のユーザーがそれを開封した場合には、送信元の端末3Sには開封者のメールアドレスリストにして表示されることになる（図示せず）。

【0039】受信側のユーザー端末3Rでは、メッセージが到着すれば、図2(v)に示すようにマジックランプA1の表示が点滅表示に変わり、何らかのメッセージが到着したことをユーザーに知らせる。ここでは、当該メッセージの送信先として指定されるユーザー端末3Rは、後述するように当該マジックランプを実際に利用しているユーザーに限られるので、マジックランプA1はその端末3Rに常駐的に表示されているので、これが可能となるのである。

【0040】そして同図(vi)に示すように発信元のエージェントキャラクタA3が出現し、その噴出しA5に30送信者のアドレスW5、メッセージ内容W6が表示され、またメッセージ画面を閉じるボタンW7と返信ボタンW8が表示される。

【0041】受信側のユーザーが端末3Rの画面(vi)において、返信ボタンW8をカーソルでポイントティングしてクリック操作をすれば、画面(vii)に展開する。

【0042】この画面(vii)は返信用メッセージを作成するための画面であり、それまでの発信者側のキャラクタA3に代わって受信者側のキャラクタA13が出現し、その噴出しA14内に元の発信者のアドレスの表示40ウィンドウW11、返信メッセージの記入ウィンドウW12、送信ボタンW13、封書ボタンW14が表示される。

【0043】受信側のユーザーは端末3Rの返信用の画面(vii)において返信メッセージを入力し、送信ボタンW13をクリックすることにより、元の発信者の端末3Sに対して返信メッセージを送信することになる。

【0044】元の発信側のユーザー端末3Sでは、返信メッセージが到着すると、図2(viii)に示すように、受信者側のキャラクタA13が表示され、噴出しA6には元の受信者側のアドレスW15と共に返信メッセージ

W16が表示され、また閉じるボタンW17と再返信ボタンW18が表示される。なお、返信メールを受けたときに、両方のキャラクタA3、A13が現れ、対話しているような表示形態にすることも可能である。

【0045】このような機能を備えたメッセージソフトを利用することにより、次のような広告情報をそれに興味を示す確率が高いユーザーを特定して配信し、また同好会的な情報配信も可能となる。なお、このメッセージソフトは、内容をいったんはバッファに蓄えて配信することも、そうではなく、リアルタイムにユーザーの端末へ配信することもできる。

【0046】まず、広告情報の配信方法について説明する。図1のシステム構成において、広告主は端末5を用いてインターネット1を経由してWWWサービスプロバイダ2にアクセスし、WWWサービスプロバイダ2が用意している図3に示すような広告見積もり画面W21のページを開く。

【0047】広告主はこの画面W21に対して、広告対象の絞り込みを行うために必要な入力を行い、見積もりボタンB1をクリックすれば、これが見積もり依頼となり、WWWサービスプロバイダ2に送信される。

【0048】この見積もり画面W21における入力について説明する。広告主は広告効果を高めるために、売り込みたい製品やサービスの広告対象を絞り込みたいと望むので、性別、年齢層、地域、趣味、興味対象、嗜好等の選択アイテムS1、S2、…を用意しておく。また、上述したメッセージ機能を利用して広告情報を配信するので、対象ユーザーの端末3に発信側のキャラクタA3(図2(vi)参照)として使用するキャラクタCR1、CR2、…も広告対象のユーザーが好感を持ちそうなものを多数用意し、広告主の意向や予算に応じて選択指定できるようにしておく。

【0049】そしてWWWサービスプロバイダ2からこのような見積もり画面W21を広告主の端末5に送って表示させ、広告主はこの画面W21に対して選択指定して広告見積もり依頼書を作成し、完了すれば見積もりボタンW22をクリックすることによって見積もり依頼をWWWサービスプロバイダ2に送信する。

【0050】広告見積もり依頼を受けたWWWサービスプロバイダ2側では、個人情報データベース4を検索し、広告対象の条件に該当するユーザー群を抽出し、図4に示すような広告依頼画面W23を作成し、広告依頼主の端末5に概要を送信する。この広告依頼画面W23では、見積算定額W24を表示すると共に、広告メッセージの入力ボックスW25、リンクさせるURLの入力ボックスW26を用意し、また依頼主が選択した広告イメージキャラクタA21を表示する。この広告イメージキャラクタA21は、広告情報をユーザーを特定して配信したときに、図2において示した発信者側のキャラクタA3として表示されるものである。

【0051】この画面において、メッセージ入力ウィンドウW25に広告メッセージを入力し、また広告サイト6の入力ウィンドウW26をURLを入力し、依頼ボタンW27をクリックすると正式な広告依頼として広告主端末5からWWWサービスプロバイダ2が広告を受注し、後述する広告情報の配信サービスを実行することになる。ここで、再見積ボタンW28をクリックすれば広告見積もり画面W21に戻り、再び見積もり手続を行うことになり、キャンセルボタンW29をクリックすると依頼キャンセルになる。

【0052】次に、WWWサービスプロバイダ2が広告主端末5から広告情報の配信依頼を受けた後の広告情報の配信処理について説明する。WWWサービスプロバイダ2は、ユーザー端末3において前述した通信ソフトを起動しているユーザーを把握している。これは、無償配布する通信ソフトに、その起動によって自動的にWWWサービスプロバイダ2のサイトにアクセスする機能を組込むことにより、実現している。

【0053】そこで、ある広告主から広告情報の配信依頼があれば、広告期間、例えば、1日、1週間、1ヶ月の間、上述したデータベース4から抽出した広告対象ユーザーのリストを保持しておき、現実に通信ソフトを起動したユーザーが当該広告対象ユーザーのリストにリストアップされているかどうかを検索し、該当するユーザーであれば、WWWサービスプロバイダ2が送信者となり、図2に示したメッセージサービスを利用して広告主の広告情報をメッセージとして広告対象ユーザーに送信する。そしてこの際、送信元のキャラクタA3には広告主が選定したキャラクタA21を使用する。

【0054】したがって、該当するユーザーが通信ソフトを起動すると、そのユーザー側の端末3では、画面(v), (vi)が現れる。ここでは、送信側のキャラクタA3として広告主が選定したキャラクタA21が表示され、また広告主が入力した広告メッセージがウィンドウW6に表示され、その広告サイト6のURLも表示されることになる。

【0055】これに対して広告配信を受けたユーザーが広告サイトのURLをクリックすれば、その広告サイト6にジャンプして広告情報を受けることができる。

【0056】また、広告メッセージに対して興味があり、パンフレットの要求をしたり、何らかの意見を述べたいと思うような場合、ユーザーは画面(vi)において返信ボタンW8をクリックして画面(vii)を表示させ、これに意見を入力して送信するようとする。

【0057】以上の広告配信方法をまとめると、図5のフローに示すものとなる。

【0058】(0) まず大前提として、上述したように、WWWサービスプロバイダ2側では、データベース4に可能な限り多数の個人情報を蓄積しているものとするか、若しくは外部からこれら個人情報の提供を受けら

れるものとする。そしてこれは、例えば当該サービスを実行する通信ソフトをWWWサービスプロバイダ2のサービスサイトから無償でダウンロードさせ、ユーザー登録させる際に必要な個人情報を取得する方法によるものであってもよい。

【0059】(I) 広告主は端末6を用いて広告見積をWWWサービスプロバイダ2に依頼する。

【0060】(II) WWWサービスプロバイダ2側では、広告見積依頼に基づき、自ら構築したか、若しくは外部から提供を受けた個人情報データベース4を検索して（検索結果のみを外部から提供されるようにしてもよい）広告対象ユーザーを絞り込み、ユーザーそれぞれのメールアドレスをリストアップして保持しておく（ただし、プライバシー保護の観点から、WWWサービスプロバイダ2は抽出したユーザーのメールアドレスのリストを依頼主に開示することはない）。

【0061】(III) WWWサービスプロバイダ2から広告サービスの見積もりを広告主に通知する。

【0062】(IV) 広告主は、費用効果を考量して広告情報の配信を決定すれば、広告依頼をWWWサービスプロバイダ2に発注する。

【0063】(V) WWWサービスプロバイダ2は広告依頼を受けると、現在、当該サービスサイトにアクセス中のユーザーの中から、広告対象リストにリストアップされているユーザーをピックアップし、それぞれのユーザー端末3に対して広告情報を配信する。

【0064】なお、広告配信依頼を受けて広告情報を配信する時点では当該サービスサイト2にアクセスしていない広告対象ユーザーが多数存在するが、そのようなユーザーに対しても確実に広告情報を配信するために、広告配信の有効期限（例えば、1日、1週間、1ヶ月といった期限）を広告主とサービスサイトとの間で契約しておき、その期限内にアクセスのあった広告対象ユーザーに対しては、例えば、3回までとか、5回までとか、1アクセスにつき1回だけとかといった所定の条件で広告メッセージを配信する。

【0065】これにより、広告情報を受信したユーザー端末3には、ユーザーのマジックランプA11からキャラクタA3として広告主が選択してキャラクタA21が出現し、その噴出しA5に広告メッセージが表示される。また広告サイト6のアイコンがそのURLとリンクさせた形で表示される。

【0066】(VI) ユーザーが広告アイコンをクリックすれば、リンクされているURLにジャンプし、広告サイトの所定のページを表示することになる。

【0067】(VII) 広告主は、例えば、WWWサービスプロバイダ2と取決めた月末締めその他の支払方法によって広告費を支払う。

【0068】(VIII) またWWWサービスプロバイダ2はキャラクタの著作権者に対してキャラクタ使用料を

支払う。

【0069】このようにして本実施の形態の広告情報配信方法によれば、広告対象をそれに興味を示す可能性の高いユーザーに限り、広告依頼期間の間にそのユーザー端末3からアクセスがあった場合に広告メッセージを配信することができ、広告効果を高めることができる。

【0070】図2に示したメッセージジャーサービスを応用すれば、図6に示したようなサービス提供方法も実現することもできる。第2の実施の形態のサービス提供方法は、当該サービスシステムの同好会的な情報配信を特徴とする。例えば、あるユーザーが有名スポーツ選手

（以下、説明を簡単にするためにA選手とする）を応援する同好の士（嗜好を同じくするもの）を募り、情報交換したいと願う場合、そのユーザーが発起人となり、情報主8として当該サービスプロバイダ2に同好者のリストアップを依頼する（S1）。なお、当該サービスの利用は有料であっても、無料であってもよいが、以下では、当該サービスの利用促進のために無料として説明する。

【0071】依頼を受けたサービスプロバイダ2は、一応の審査を行い、公序良俗その他の規定に反しない趣旨の同好会その他の配信趣旨であれば、これを受付け、個人情報データベース4を検索して（検索結果のみを外部から提供されるようにしてもよい）、A選手を応援している登録ユーザーを抽出し、そのアドレスリストを作成して保持する（S2）。

【0072】続いて、情報主8は図2における画面(ii)においてメッセージ記入ウィンドウW2にメッセージを入力し、送信ボタンW3をクリックすれば、そのメッセージが発信情報としてサービスプロバイダ2に送信され、ここで、中継して、予めリストアップされている該当ユーザー3のメールアドレスそれぞれに配信される（S3）。

【0073】このような情報配信を受けたユーザーの端末3には、当該通信ソフトを起動したときに図3の画面(v)の表示がなされ、メッセージが届いていることを知らせ、画面(vi)の表示が現れる。

【0074】そこで、このメッセージに応答したいと思えば、返信ボタンW8をクリックし、画面(vii)に展開させ、この画面で返信メッセージを入力して送信ボタンW13をクリックすれば、元の情報発信者に返信メッセージを送信することができる。

【0075】これにより、例えば、有名A選手の同好会の会員を募り、意見交換を行うといったことが当該サービスプロバイダ2のサービスサイトを利用して行うことができるようになる。

【0076】なお、上記の両実施の形態では、サービスプロバイダ2においてデータベース4から抽出したターゲットユーザーリストの中から、さらに実際に当該サービスサイトにアクセスしているユーザーに絞って情報配

信を行うようにして、リアルタイムにホットな広告情報や一般情報が配信できるようにしたが、これに限らず、データベース4からリストアップしたユーザーすべてに対してそのメーリングポストに広告情報または一般情報を配信しておき、該当ユーザーが当該サービスソフトを起動してメールの受信手続を行ったときにこれらの情報がそのユーザー端末3に届けられるようにもよい。

【0077】

【発明の効果】以上のように請求項1の発明によれば、広告主が広告対象としているユーザー層に限って広告情報を提供することができ、広告効果を向上させることができる。

【0078】請求項2の発明によれば、情報配信主が配信対象としているユーザー層に限って情報を提供することができ、それを必要とする蓋然性が高いユーザーに絞って情報を提供することができ、その後の意見交換が可能となり、特に同好会や後援会の会員を募ることができるので、相互に意見交換する場を提供することができる。

【0079】請求項3の発明によれば、広告情報や他の情報の表示と共に配信元を表象する特定のキャラクタを表示させることにより、ユーザーにとって当該サービスを楽しみながら利用することができるようになり、ひいては当該サービスの利用を促進することができる。

【0080】請求項4の発明によれば、データベースに収められた情報を抽出することにより、正確かつ迅速に配信対象のユーザーを特定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態のサービス提供方法を使用するサービス提供システムのブロック図。

【図2】上記の実施の形態におけるメッセージジャーサービスの送信側と受信側での働きを示す説明図。

【図3】上記の実施の形態において広告主による広告見
10 積依頼手続のための画面を示す説明図。

【図4】上記の実施の形態において広告主による広告依頼手続のための画面を示す説明図。

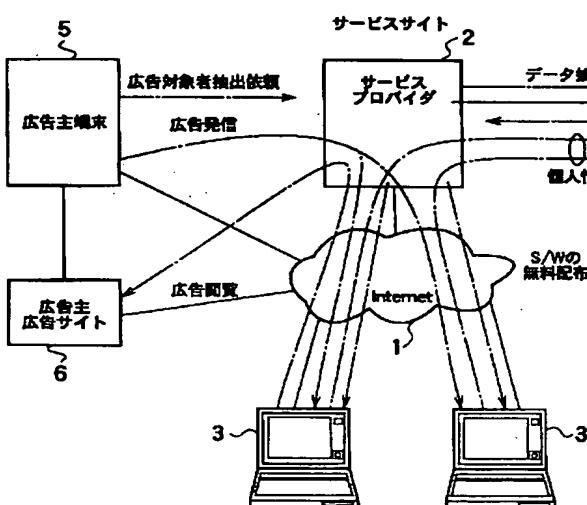
【図5】上記の実施の形態のフロー図。

【図6】本発明の第2の実施の形態のサービス提供方法を使用するサービス提供システムのブロック図。

【符号の説明】

- 1 インターネット
- 2 サービスプロバイダ
- 3 ユーザー端末
- 4 データベース
- 5 広告主端末
- 6 広告主サイト
- 7 広告サイト
- 8 情報主端末

【図1】

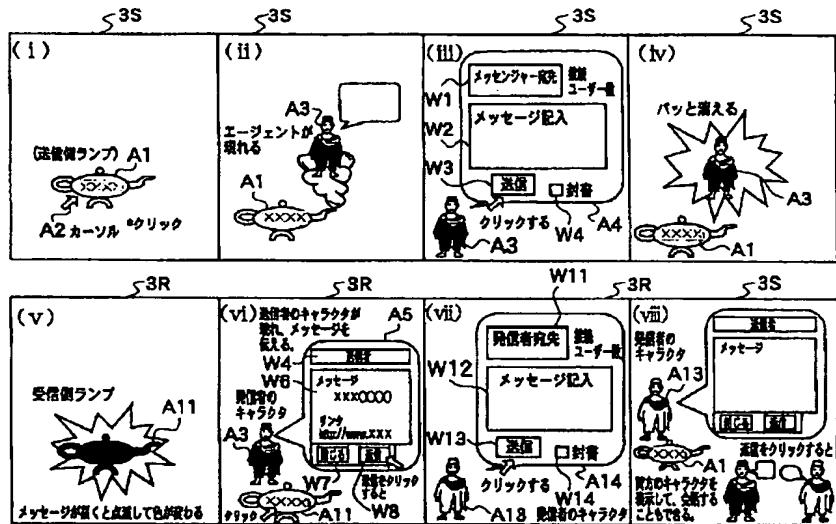


【図4】

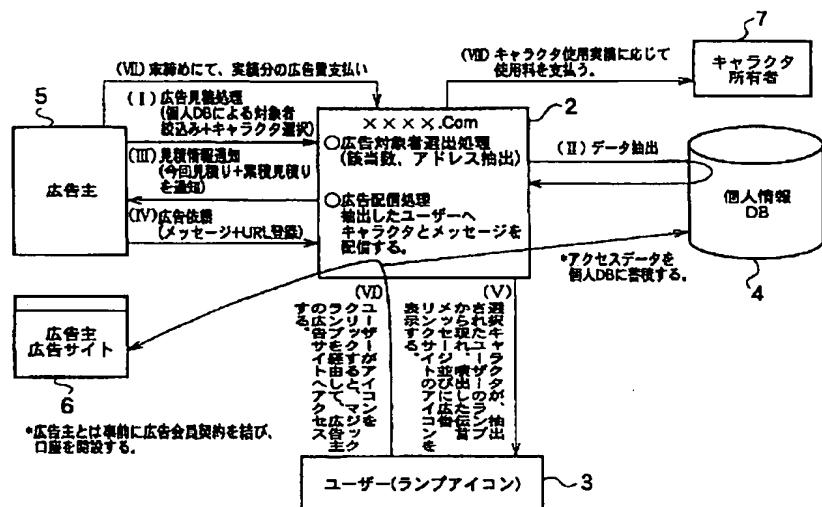
広告依頼画面	
対象ユーザー数	5万人
キャラクタ単価	20円
今回見積り金額	100万円
前回までの実績	1,500万円
合計	1,600万円
○メッセージ入力(100文字まで) ×××が出来ました。 アクセス下さい。	
○リンク先URL	
○リンクボタン	
A21	W27 W28
W29	キャンセル
W27	W28
依頼	再見積
広告イメージ	

This form represents the advertisement request screen. It includes fields for target user count, character price, current quotation, previous performance, total amount, message input, link URL, and link button. Buttons for 'Request' (A21), 'W27', 'W28', 'W29', and 'Cancel' are also present.

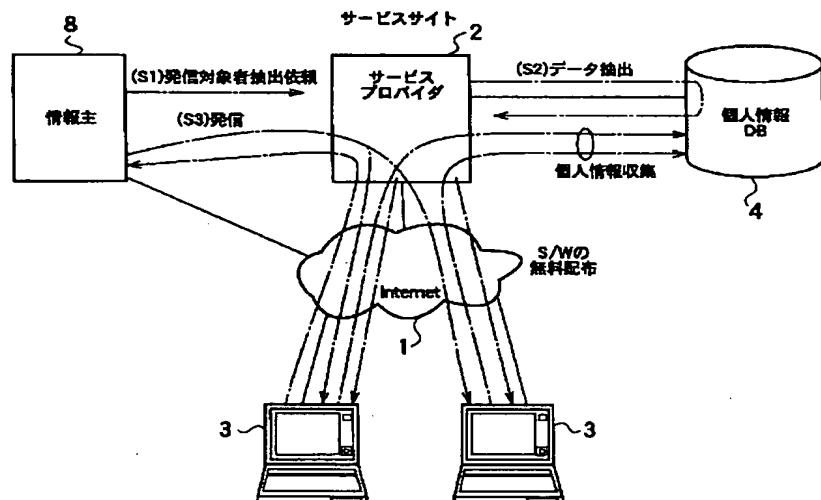
【図2】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(51) Int. C1. 7

G 0 6 F 17/60

識別記号

3 2 6

3 3 0

F I

G 0 6 F 17/60

テマコード (参考)

3 2 6

3 3 0

THIS PAGE BLANK (USPTO)